

[氏名] 小川 孔輔、1951 年生



[現職] 法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授、  
日本フローラルマーケティング協会会長

[職歴] 1976 年 法政大学研究助手、講師、助教授を経て、現在教授（2000 年 4 月～2004 年 3 月、経営学部長） 2000 年 5 月～ 日本フローラルマーケティング協会を設立（～現在、会長）、2007 年 4 月～ 2010 年 3 月 京都工芸繊維大学特任教授

[研究歴] 1974 年 東京大学経済学部卒業。1976 年 同大学大学院前期課程を修了、経営学に専門領域を転じる。大学院時代から、マーケティング・リサーチ、マーケティングのモデル分析などを主たる研究領域とする。1982～1984 年 カリフォルニア大学バークレイ校に客員研究員として留学。1987 年 コンジョイント分析で、**Marketing Science** 誌に日本人としてはじめて単名で論文が採択される。2002 年 10 月～2006 年 3 月 学会誌『マーケティング・サイエンス』の編集長。1996 年～2006 年 **International Journal of Research in Marketing** の Abstract Area Editor(Japan)。2003 年～2006 年 文部科学省学術研究「有機野菜の流通・マーケティングプロジェクト」の研究主査。2006 年～2009 年、(2012 年～2015 年)「東アジアへのマーケティング技術の移転研究」の研究主査。2009 年～ 同じく、「日本版顧客満足度指数をベースとしたサービスマーケティングの理論開発と応用研究」の研究主査。

[専門誌編集、学会] マーケティング・サイエンス学会（理事）、日本マーケティング学会（理事）、日本商業学会、日本消費者行動研究学会（設立メンバー）

[社会的な活動] 2000 年～ 日本フローラルマーケティング協会を設立、会長に就任（現在に至る）。2001 年～2002 年 東京都産業労働局 東京とれたたて野菜プロジェクト座長。農林水産省（花き産業）、特許庁（商標委員会）などで、研究会委員歴任。2007 年～2010 年、経済産業省サービス産業生産性協議会、CSI 開発委員会座長。2010 年～ 経済産業省サービス産業イノベーション促進事業（中小サービス評価診断システム整備事業）。トヨタ自動車（商品企画部、中央研究所）、大正製薬（情報開発室）、サントリー（花事業部）、日野自動車、インテージなどで、マーケティング・コンサルティング活動に従事。

[受賞] テレコム社会科学奨励賞（2001 年）

[著作] 『マーケティング情報革命』（1999 年、有斐閣）、『有機野菜の流通とマーケティング』（2007 年 3 月、農文協）、『マネジメント・テキスト マーケティング入門』日本経済新聞出版社（2009 年 7 月）『しまむらとヤオコー “小さな町が生んだ 2 大小売りチェーン”』（2011 年 1 月、小学館）、『ブランド戦略の実際〈第 2 版〉』（2011 年 10 月、日経文庫）など、著書多翻訳、編著多数。

[学歴] 1974 年 東京大学経済学部卒業、1976 年 経済学修士（東京大学）、  
1978 年 博士後期課程中退（東京大学）。